

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

会員の移動状況

会員種別	員 数		増減数
	平成 29 年 2 月 28 日 現 在	平成 28 年 2 月 29 日 現 在	
名誉会員	57	58	-1
永年会員	269	254	15
正 会 員	3699	3810	-111
学生会員	725	765	-40
維持会員	212.5	218.5	-6
特別会員	553	553	0
公益会員	373	382	-9
計	5888.5	6040.5	-152

1. 第 5 回定時総会 (定款第 17 条)
 日時 平成 28 年 5 月 19 日 (木) 13:30~15:00
 場所 アリアル五反田駅前会議室 (東京都品川区西五反田 1-2-9) 参加者数 122 名

2. 会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))
- (1) 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|-------------------|--------|-------|
| 自 平成 28 年 3 月 5 日 | 2016 3 | 6,400 |
| 至 平成 29 年 2 月 5 日 | 2017 2 | 6,400 |
- (2) 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|-------------------|------|-------|
| 自 平成 28 年 3 月 5 日 | 65 3 | 2,000 |
| 至 平成 29 年 2 月 5 日 | 66 2 | 2,100 |
- (3) 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|--------------------|------|------|
| 自 平成 28 年 3 月 10 日 | 32 3 | 650 |
| 至 平成 29 年 2 月 10 日 | 33 2 | 640 |
- 毎月 1 回 10 日に発行

- (4) 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。
 本誌はオンラインジャーナル。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|--------------------|------|------|
| 自 平成 28 年 3 月 10 日 | 32 3 | |
| 至 平成 29 年 2 月 10 日 | 33 2 | |
- 毎月 1 回 10 日に発行
- (5) メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4,000)。
 (6) 次の書籍を編集し発行した。
 ①「第 2 回 LC 分析士三段試験解説書」(本会)
 ②「第 3 回 LC 分析士初段試験解説書」(本会)
 (7) 教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

3. 講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))
- [研究発表会]
- (1) 第 76 回分析化学討論会
 日時 平成 28 年 5 月 28 日・29 日
 場所 岐阜薬科大学・岐阜大学 (岐阜県岐阜市) 参加者数 703 名
- (2) 第 65 年会
 日時 平成 28 年 9 月 14 日～平成 28 年 9 月 16 日
 場所 北海道大学工学部 参加者数 1,215 名
- (3) 3rd Asian Symposium on Analytical Sciences

- 日時 平成 28 年 9 月 14 日
 場所 北海道大学工学部 参加者数約 100 名
- (4) 特別公開シンポジウム：産業界シンポジウム「産業の最前線で活躍する分析化学」
 日時 平成 28 年 9 月 14 日
 場所 北海道大学工学部 参加者数約 220 名
- [講習会]

- (1) 第 34 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)
 日時 平成 28 年 6 月 28 日・29 日
 場所 飯田橋レインボービル 参加者 64 名
- (2) 第 22 回分析化学における不確かさ研修プログラム
 日時 平成 28 年 7 月 21 日・22 日
 場所 日本電気計器検定所本社 参加者 22 名
- (3) 第 23 回分析化学における不確かさ研修プログラム
 日時 平成 28 年 12 月 15 日・16 日
 場所 日本電気計器検定所本社 参加者 16 名
- (4) 第 24 回分析化学における不確かさ研修プログラム
 日時 平成 29 年 1 月 16 日・17 日
 場所 日本電気計器検定所本社 参加者 11 名
- (5) 分析信頼性実務者レベル講習会「第 20 回水中の微量金属成分分析」
 日時 平成 28 年 10 月 14 日及び平成 29 年 1 月 27 日
 場所 ㈱オーム社第 1 ゼミルーム 参加者 11 名
- (6) 分析信頼性実務者レベル講習会「第 15 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」
 日時 平成 28 年 10 月 27 日・28 日
 場所 飯田橋レインボービル 参加者 18 名
- (7) 第 5 回分析化学の基本と安全セミナー
 日時 平成 28 年 10 月 21 日
 場所 ㈱島津製作所京都本社 参加者 37 名
- (8) 第 6 回分析化学の基本と安全セミナー
 日時 平成 29 年 2 月 1 日
 場所 ㈱エッサム 参加者 30 名

- 4 調査・研究及び建議 (定款第 5 条(3))
- [JIS]
- (1) 平成 27 年度区分 A の日本規格協会の委託に基づき、JIS K 0212「分析化学用語 (光学部門)」の改正原案を平成 27 年 6 月から平成 28 年 1 月に作成し、平成 28 年度 12 月に改正版が発行された。
- (2) 平成 27 年度区分 C の日本規格協会の委託に基づき、「分析化学用語 (熱分析部門)」新規制定の原案作成を委員長 神奈川大学西本右子先生、幹事 産業技術総合研究所の津越敬寿委員のもと行った。平成 28 年 2 月 25 日の第 1 回開催から平成 28 年 10 月までに委員会を計 4 回開催した。現在、審議中であり、平成 29 年 11 月に発行予定である。
- (3) 平成 21 年の改正原案作成以来見直しをされていないものとして、JIS K 0050「化学分析方法通則」がある。化学分析の基幹をなす分析技法の詳細な記録化のために専門家の知識の逸散を防ぐためにも改正作業の取組みが必要とされ、日本規格協会支援の平成 29 年度 JIS 原案作成支援区分 B に応募する。

- [技能試験]
- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公開した。
- (1) ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 10 回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」
- (2) ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 18 回ダイオキシン類分析 (模擬排水)」
- (3) ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 12 回プラスチック中有害金属成分の分析」(有害物質規制/RoHS 指令対応)
- (4) ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 11 回食品分析 (粉乳)」
- (5) ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 2 回放射能分析 (しいたけ)」
- [標準物質]
- これまで開発してきた各種標準物質のうち、ダイオキシン

類分析用模擬排水認証標準物質が在庫切れとなったため、新ロットを作製し頒布を開始した。プラスチック、ダイオキシン(土壌、模擬排水)、放射能(土壌、玄米)の安定性試験を実施し、保管・管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。

5. 関係団体との協力

- (1) 次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。
日本学術会議、日本化学連合、JABEE/化学分野 JABEE 委員会、(公社)新化学技術推進協会グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク・(公社)日本工学会、標準物質協議会、ASIANALYSIS 国際諮問委員会
- (2) 次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。
(一財)日本規格協会・(一社)日本化学工業協会・(国研)産総研計量標準管理センター・(一社)日本試薬協会・(一社)日本環境測定分析協会・(公財)日本適合性認定協会・(一社)日本分析機器工業会

6. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条(4))

- (1) 2016 年度学会賞を次のとおり授与した。
五十嵐淑郎 君「超微量分析を志向する新規な化学反応の発見と分析システムの創成」
渋川 雅美 君「水を媒体とする分離場の機能計測と新分離選択性創出に関する研究」
豊岡 利正 君「生体機能性分子の高感度・特異的分析法の開発とバイオナリシスへの展開」
- (2) 2016 年度学会功労賞を次のとおり授与した。
藤原 照文 氏「化学的前処理過程の導入による新規フロー化学発光及び原子分光分析法の開発と学会への貢献」
脇阪 達司 氏「環境に配慮した迅速分析法の開発と学会への貢献」
- (3) 2016 年度技術功績賞を次のとおり授与した。
金子 毅 氏「犯罪捜査における油類鑑定の迅速・簡易化と高度利用に関する研究」
野村 聡 氏「電位差測定による pH・イオン測定法の新たな展開」
- (4) 2016 年度奨励賞を次のとおり授与した。
北隅 優希 君「電気二重層と反応拡散層の理論に基づいた電気分析化学の新展開」
田中 充 君「生理活性低分子ペプチドの体内吸収性評価に関する分析化学的研究」
田中 陽 君「集積型次世代バイオ分析基盤技術の創出」
真栄城正寿 君「機能集積化マイクロ分析デバイスの開発と医薬学分野への応用」
- (5) 2016 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
JAIMA 機器開発賞
中 庸行 君「顕微ラマン分光法を用いる半導体材料の応力・ひずみ測定技術の開発」
石丸伊知郎 君・谷口 秀哉 君・林 宏樹 君「超小型中赤外分光イメージング装置(ハイパースペクトルカメラ)の開発と実利用化」

CERI 評価技術賞

佐藤 浩昭 君「高分解能質量分析を用いた機能性ポリマー材料の構造解析法の開発」

- (6) 2016 年度有功賞を次のとおり授与した (敬称略)。
岩切 肇 池田 一正 金子 広之 佐藤 幸司
小澤 真一 伊藤 明 里川 和也 中村 淳一
吉田 博美 小山 重信 日向 信行 菊地 俊二
土屋 俊雄 高山 浩一 木村 隆幸 広瀬 勝博
一條 貞義 増田 伸吉 松本 浩幸 松本徳三郎
松本 功 八木 義秋 藤井 岳直 嶋本 純子
横溝 義男 岡田 雅樹 西村 朋子 真崎宗一郎
吉原あけみ 升田 和廣 坂下 明子 井澤 満弘
文珠四郎隆 町 博人 河崎 康夫 熊谷 輝久

高橋 博幸 加賀 政光 山本 和子 春日 慶一
島山 盛明 白根 司 檜森 秀勝 板井 清美
鈴木 和三 小林 弘美 海藤 朝夫 難波 博昭
矢野 雅彦 山口 博道 川田 国安 長谷川啓治

- (7) 2015 年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。
論文題名『交互配列磁場を用いたマイクロチップ電磁泳動による微粒子の連続分離』
著者名：飯國良規・福井優悟・北川慎也・大谷 肇 (名古屋工業大学大学院工学研究科)
掲載ページ：「分析化学」第 64 巻第 6 号、451~460 ページ
- (8) 他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

7. その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条(5))

- (1) 分析士認証事業
○液体クロマトグラフィー分析士五段・四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
○LC/MS 分析士五段・四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
○イオンクロマトグラフィー分析士四段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- (2) 広報
広報委員会により本会の活動を記者会見し、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。
- (3) 若手交流会
分析化学討論会において若手ポスター賞選考とポストシンポジウムを実施した。
各支部での若手交流会企画を共催および支援し、年会の若手ポスター賞を支援した。
- (4) AACN
Asian Analytical Chemistry Network に参加し、そのホームページを運用した。
- (5) 研究懇談会
研究懇談会活動を次のように行った。
① 有機微量分析研究懇談会
【委員長：内山一美 (首都大学東京)、委員 12 名、会員数 222 名 (個人会員 216 名、顧問 6 名)】。委員会を 2 回。第 83 回有機微量分析研究懇談会 第 101 回計測自動制御学会化学量計測部会 第 33 回合同シンポジウムを 5 月 26 日~28 日、岩手県盛岡市 (いわて県民情報交流センター、岩手大学理工学部復興祈念銀河ホール) で開催 (計測自動制御学会化学量計測部会と共催、(日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛)、岩手大学後援) し、特別講演 3 件、口頭発表 18 件、ポスター発表 22 件、不確かさセミナー、その他各委員会報告および技術研修会を行った。講演会 (第 65 年会 9 月 14 日、北海道大学工学部、招待講演 1 件)、第 9 回マイクロ電子天びん技術研修会 (6 月 17 日、理化学研究所)、第 10 回マイクロ電子天びん技術研修会 (1 月 27 日、理化学研究所) および第 5 回マイクロ電子天びんセミナー (座学) (11 月 24 日、東京大学弥生キャンパス) を開催したほか、会報 18 号を発行 (2 月) した。
② ガスクロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：前田恒昭 (国立研究開発法人産総研)、運営委員会委員 45 名、会員数 100 名 (個人会員 42 名、団体会員 42 機関、名誉会員 16 名)】。運営委員会を 5 回開催した。研究会開催数：7 回 (第 343~349 回、特別講演会、JAIMA コンファレンスの講習会 (GC 編とセパレーションサイエンス編)、分析年会での講演会を含む)。また第 22 回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会 (7 月 27~29 日麻布大学) を開催した。日中韓シンポジウム 2016 (武夷山・中国) を支援した。Web 頁を活用して会員からの情報、アーカイブ、活動報告、過去の講演要旨集等の掲載も行っている。特にアーカイブでは GC の発展に係る資料・情報を蓄積している。

③ 高分子分析研究懇談会

【委員長：渡辺健市（豊田合成）、運営委員会委員14名、会員数145名（個人会員50名、法人会員95社）】。開催数：例会5回（第382～386回）。さらに第52回・第53回高分子分析技術講習会（名古屋工業大学）、第21回高分子分析討論会（10月20、21日名古屋国際会議場）、日本分析化学会第65年会における研究懇談会講演（9月14日、北海道大学）をそれぞれ開催した。

④ X線分析研究懇談会

【委員長：辻 幸一（大阪市立大学）、運営委員29名、参与8名、会員数140名（個人会員122名、団体会員18社）】。開催数：例会5回（第256～260回）、運営委員会2回。「X線分析の進歩」第47集をアグネ技術センターより出版したほか、第52回X線分析討論会（10月26日～10月28日、筑波大学東京キャンパス、東京、参加者176名）を主催し、講習会「蛍光X線分析の実際」（7月11～13日、東京理科大学神楽坂校舎）を主催した。本会浅田榮一賞を福田勝利氏（京都大学）に授与した。

⑤ 分析試薬研究懇談会

【委員長：片山佳樹（九州大学）、運営委員会委員18名、参与委員15名、会員数103名（個人会員100名、賛助会員3名）】。開催数：1回。第65年会において分析試薬研究懇談会（9月15日、北海道大学、講演4件・特別講演の共催）を開催した。また第14回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。

⑥ 溶液界面研究懇談会

【委員長：塚原 聡（大阪大学）、運営委員14名、個人会員104名】。開催数：1回。北海道大学で開催された第65年会の「界面・微粒子」セッションの中で、2件の講演（9月14日）を行った。

⑦ 液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：中村 洋（東京理科大学）、役員会役員の数：42名、会員数：237名（個人会員：168名、団体会員：69社）】。開催数：12回（第297～308回）。また第18回特別講演会・見学会（7月8日、東京都健康安全研究センター）、第19回特別講演会・見学会（11月4日、キリンビール・横浜工場）、第22回LCテクノプラザ（2017年1月19～20日、横浜情報文化センター）、LC-DAYs 2016（11月24～25日、マホロバマインズ三浦）、運営委員会総会I（8月3日・4日）、運営委員会総会II（2017年2月21日・22日）、本研究懇談会編「LC/MS, LC/MS/MS Q & A 100 龍の巻」（オーム社）の査読会（2017年1月25日・26日）を開催した。このほか関東支部主催第57回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」（7月27～29日）、及びJAIMAセミナー「これであなかも専門家」のLC編（9月7日、幕張メッセ）の担当とセパレーションサイエンス編（9月9日、幕張メッセ）を共同担当し、第12回千葉県分析化学交流会（1月31日、オルガノ）を後援した。また本研究懇談会編「LC/MS, LC/MS/MS Q & A 100 虎の巻」（オーム社）、「第3回LC分析士初段試験解説書」（日本分析化学会）の実質的な編集・執筆を担当した。

⑧ 化学センサー研究懇談会

【（委員長：鈴木孝治（慶應義塾大学）、運営委員会委員3名、会員数約40名（個人会員約40名））】。研究懇談会企画の講演として本部企画と共同で北大年会でのASAS（アジア分析科学会議）に中国から清華大学（北京）のJig-Ming Lin教授と華東師範大学（上海）のYang Tian教授を招聘して、講演をしていただいた。また、これらの講演者を招き分析機器工業の栗原会長との昼食会を行い、日中の分析化学や分析機器の懇談を行った。

⑨ 電気泳動分析研究懇談会

【委員長：江坂幸宏（岐阜薬科大学）、顧問8名、常任委員13名、委員34名】。第36回キャピラリー電気泳動シンポジウム（11月、徳島）を開催した。また電気

泳動分析懇談会賞として寺部茂賞の選出を行い、表彰を行った。第3回寺部茂賞は名古屋大学馬場義信教授が受賞した。

⑩ イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：伊藤一明（近畿大学工学部）、運営委員会委員32名、会員数101名（個人会員91名、維持会員8社、団体会員2社）】。2016（第13回）日中韓分析化学シンポジウム（8月24～27日、中国・武夷山）をGC, HPLC, FIA, 環境分析各研究懇談会と協力した。IC講習会（9月9日、JAIMAセミナー8、IC編、幕張メッセ）、IC講演会2回（9月9日、JAIMAセミナー12、SS編、幕張メッセ、GC, HPLC各研究懇談会と共催）、（9月15日、北海道大学、第65年会中）、第33回IC討論会（12月1日～2日、熊本）を開催した。運営委員会を3回開催。IC分析士初段・2段・4段認証試験の実施に協力した。

⑪ フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長：今任稔彦（九州大学）、運営委員会委員52名、会員数145名（個人会員122名、賛助会員12名、特別賛助会員11社22口）】。講演会を2回（FIA講演会（11月5日、同志社大学室町キャンパス寒梅館）、年会会期中（9月15日、北海道大学）、講習会を1回（JAIMAセミナー10「これであなかも専門家一流れ分析編」（9月9日、国際会議場）を開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行（33巻1, 2号）及びそのための編集委員会を2回（5月27日、岐阜市と11月4日、京都市）、また褒賞委員会を1回（年会会期中、9月15日、北海道大学）開催した。2016日中韓（CJK）分析化学シンポジウム（8月24～27日、中国・武夷山）をGC, LC, FIA, 環境分析各研究懇談会と協力支援した。20th ICFIA（10月2～7日、スペイン）の共催を行った。

⑫ 環境分析研究懇談会

【委員長：角田欣一（群馬大学）、運営委員会委員14名、会員数87名（個人会員82名、グループ会員5名）】。講演会を3回（第28回を9月15日第65年会において、第29回を12月9日東京電機大学（レアメタル分析研究懇談会、表示・起源分析技術研究懇談会と共催）、第30回を2月22日東京都市大学（東京都市大学と共催）において開催した。運営委員会（9月15日第65年会）を1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また2016CJK Symposium on Analytical Chemistry（8月24日～27日、武夷、中国）を他の懇談会とともに協力支援した。分析化学誌編集委員会と共同で「特集、放射線と分析化学—事故後5年」を企画した。

⑬ 表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長：安井明美（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）、運営委員会委員17名、個人会員100名、団体会員20社】。講演会を1回（ジョイント講演会〈第15回講演会〉：12月9日東京電機大学千住キャンパス）開催した。9月14日第65年会にて講演会を開催した。

⑭ レアメタル分析研究懇談会

【委員長：小熊幸一（元千葉大学）、運営委員会委員：9名、会員数：18名（個人会員のみ）】。9月14日に講演会ならびに運営委員会を第65年会会場（北海道大学）において開催した。12月9日に東京電機大学において、環境分析研究懇談会及び表示・起源分析技術研究懇談会とのジョイント講演会を開催した。

⑮ 熱分析研究懇談会

【委員長：西本右子（神奈川大学）、事務局担当委員2名、個人会員18名、団体会員6社】。講演会を1回（9月16日に第65年会会場において）開催した。JASIS2016における講習会、JAIMAセミナー「これであなかも専門家—熱分析編（2016年9月8日）」を開催した。JIS分析化学用語（熱分析編）の原案作成委員会に協力した。

⑩ 溶液反応化学研究懇談会

【委員長：山口敏男（福岡大学），運営委員会委員18名，会員数18名（個人会員18名，賛助会員0名）。講演会ならびに運営委員会を9月14日の分析化学会第65年会（北海道大学）で開催した。

⑪ 受託分析研究懇談会

【委員長：中田邦彦（(一財)日本冷凍食品検査協会），運営委員会委員15名，会員数22名（個人会員12名，賛助会員0名，法人10口）。第3回総会，第4回セミナーおよび情報交換会（11月10日，島津製作所イベントホール（東京））を開催した。セミナー演題4題で，参加者41名であった。施設見学会（6月15日，JXエネルギー㈱根岸製油所）を行った。参加者13名。例会（技術情報交換会および運営委員会）を4回開催した。

⑫ 電気分析化学研究懇談会

【委員長：前田耕治（京工織大），運営委員会委員31名。第1回設立総会を9月15日分析化学会第65年会（北海道大学）で開催し，第77回討論会（龍谷大）での主題討論シンポジウムの開催を決定した。

⑬ 全国若手交流会

【代表：末吉健志（大阪府立大学）】中部支部，中国四国支部，近畿支部若手事業への助成をそれぞれ行った。また，第75回分析化学討論会（平成27年5月23日・24日，山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市））後に開催された若手ポストシンポジウムへの助成を行った。

(6) 支部

2016年度の支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

① 役員を選任

支部長	加藤 昌子
次期支部長	伊藤 慎二 福嶋 正巳
参 与	石本 裕 伊藤八十男 大澤 雅俊
	大谷 真 小澤 幸男 片岡 正光 片山 則昭
	久万 健志 嶋津 克明 神 和夫 多賀 光彦
	高橋 英明 樽井 敏三 中野 益男 那須 淑子
	長谷部 清 三浦 敏明 山下 俊治 横沢 龍朗
監 事	宇都 正幸 黒澤 隆夫
庶務幹事	三浦 篤志 南 尚嗣
会計幹事	坂入 正敏 谷 博文
幹 事	青柳 直樹 石田 晃彦 上野 貢生
	大木 淳之 大津 直史 奥田 弥生 蛸崎 梯司
	川口 俊一 菅 正彦 喜多村 昇 工藤 英博
	蔵崎 正明 齋藤 健 齋藤 徹 堺井 亮介
	佐々木胤則 鈴木 智宏 高橋 徹 田中 俊逸
	田原るり子 千葉 真弘 敦賀 昇 渡慶次 学
	富田 恵一 豊田 和弘 中田 耕 中谷 暢丈
	永洞真一郎 西村 一彦 平間 祐志 藤吉 亮子
	古崎 睦 松井 宏之 三原 義広 村井 毅
	森田みゆき 諸角 達也 山田 幸司 叶 深
	吉村 昭毅

② 研究発表会

- 1) 夏季研究発表会（共催）：7月23日，室蘭工業大学で開催，一般講演117件，特別講演2件（参加者213名）。また蓬殿にて懇親会を行った（48名）。
- 2) 化学教育研究協議会（共催）：11月5日，北海道大学大学院地球環境科学研究院で開催，講演1件，分析化学若手教育研究者による話題提供，自由討論，懇親会を行った（参加者63名）。
- 3) 冬季研究発表会（共催）：1月17-18日，北海道大学フロンティア応用科学研究棟で開催，研究発表224件，特別講演1件（参加者434名）。また懇親会を行った（参加者63名）。

③ セミナー

- 1) 第32回分析化学緑陰セミナー：7月2-3日，旅亭雪の屋にて開催，講演4件，ポスター講演20件，懇親会を行った（参加者46名）。
- 2) 第52回氷雪セミナー：1月8-9日，南幌温泉ハート&ハートで開催，講演3件，懇親会を行った（参加

者25名）。

④ 交流事業

若手の会交流会：「九州支部若手の会」から講師（1名）を招待した。

⑤ 支部ニュースの発行

北海道支部ニュース第53号，第54号を発行した。

【東北支部】

① 役員を選任

支部長	末永 智一
次期支部長	糠塚いそし
副支部長	猿渡 英之 壹岐 伸彦
参 与	秋葉 健一 阿部 重喜 石井 一
	宇野原信行 大関 邦夫 大類 洋 荻野 博
	長 哲郎 小田嶋次勝 後藤 順一 斎藤 紘一
	佐藤 允美 鈴木 信男 玉木 洋一 南原 利夫
	広川吉之助 星野 仁 山崎 慎一 四ツ柳隆夫
監 事	我妻 和明 西野 精一
庶務幹事	佐藤 雄介
会計幹事	伊野 浩介
幹 事	赤坂 和昭 安齐 順一 石川大太郎
	井上 久美 伊藤 徹二 井上 亮 岩田 吉弘
	遠藤 昌敏 大江 知行 大野 賢一 大橋 弘範
	尾形 健明 小川 信明 押手 茂克 柏倉 俊介
	上條 利夫 菊地 洋一 北川 文彦 熊澤 徹
	佐藤 勝彦 佐藤 健二 佐藤 雄介 珠玖 仁
	志村 清仁 鈴木 敦子 高貝 慶隆 鶴岡 博章
	寺前 紀夫 照井 教文 仲川 清隆 中川 公一
	中村 重人 中山 健一 西澤 松彦 野原 幸男
	橋本 幹雄 平野 愛弓 平山 和雄 福島美智子
	福村 裕史 藤村 務 星 友典 細野 長悦
	松永 英之 眞野 成康 村本 光二 盛田 伸一
	八木 芳夫 山田 正俊 我妻 和明 和久井喜人
	渡辺 健一 渡辺 忠一

② 研究発表会

平成28年度化学系学協会東北大会（日本化学会東北支部が主催し，日本分析化学会東北支部は共催）：9月10-11日，いわき明星大学にて開催された。293件の講演があり，487名の参加があった。

③ セミナー（主催）

- 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2016：3月12日，東北大学金属材料研究所にて開催した。招待講演2件が行われ，34名の参加があった。
- 2) 平成28年度東日本分析若手交流会：7月1-2日，長野県・日本大学軽井沢研修所にて開催した。招待講演5件，ポスター講演32件を行い，76名の参加があった。
- 3) みちのく分析科学シンポジウム2016：10月22日，東北大学青葉山キャンパスにて開催した。招待講演5件，ポスター講演19件が行われ，延べ46名の参加があった。
- 4) バイオアナリシス2016：12月3日，東北大学大学院薬学研究科にて開催した。招待講演2件が行われ，29名の参加があった。

【関東支部】

① 役員を選任

支部長	金澤 秀子
副支部長	中込 和哉 上原 伸夫 鈴木 康志
望月 直樹	
参 与	赤岩 英夫 梅澤 喜夫 岡田 哲男
	小熊 幸一 大橋弘三郎 楠 文代 合志 陽一
	酒井 馨 澤田 清 渋川 雅美 菅原 正雄
	杉谷 嘉則 高田 芳矩 高村喜代子 田中 龍彦
	角田 欣一 中村 洋 丹羽 修 二瓶 好正
	平井 昭司 不破敬一郎 藤原 鎮男 保母 敏行
	前田 瑞夫 宮村 一夫 矢野 良子 山崎 素直
	山根 兵 綿拔 邦彦
監 事	西垣 敦子 安田 純子
常任幹事	相本 道宏 石川 隆一 上野 祐子
	梅村 知也 奥村 寿子 加藤 大 川田 哲

川原 正博 国村 伸祐 小玉 修嗣 齊藤 和憲
 齋藤 伸吾 坂本 美穂 佐藤 敬一 數野 修
 鈴木 保任 谷合 哲行 津越 敬寿 中西 淳
 並木 健二 野村 文子 袴田 秀樹 林 英男
 東 達也 保倉 明子 本田 俊哉 森 勝伸
 山本 博之 由井 宏治
 幹 事 有井 忠 岩崎 雄介 植田 郁生
 釜谷 美則 小松 広和 坂元 秀之 佐々木直樹
 東海林 敦 角田 誠 豊田 太郎 増田 潤一
 山崎 伸彦 吉田 達成

② 研究発表会

第30回新潟地区部会研究発表会：9月30日（金）、「メ
 ディアシップナレッジルーム」において開催、特別講演2
 件、一般講演4件、情報交換会を行った。

③ 講習会

1) 第57回機器分析講習会：第1コース、6月23～24
 日、第2コース、7月27～29日、第3コース、11月
 16日、第4コース、1月26～27日、アジレントテクノ
 ロジー、慶應義塾大学、島津製作所、日立ハイテクサ
 イエンスで開催した。

2) 第28・29回分析化学基礎実習講座：8月24～26
 日、東京理科大学、2月16～17日、パーキンエルマ
 ジャパンで各々開催した。

④ 講演会

1) 第13回茨城地区分析技術交流会：12月2日（金）、
 いばらぎ量子ビーム研究センターにおいて開催、特別
 講演3件、ポスターセッション及び情報交換会を行っ
 た。

⑤ セミナー

1) 28年度日本分析化学会関東支部若手交流会は：東北
 支部若手の会と共同主催で東日本分析若手交流会を7
 月1日（金）～2日（土）、「日本大学軽井沢研修所」に
 おいて開催

2) 新世紀賞・（新人賞）講演会・新年交流会：1月10
 日、秋葉原ダイビル18階日立製作所において開催。

⑥ 各県分析化学交流会

1) 第12回千葉県分析化学交流会：1月31日、オルガノ
 絆において開催

⑦ 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第27号を発行した。

【中部支部】

① 役員を選任

支 部 長 小谷 明
 次期支部長 片野 肇
 副支部長 加賀谷重浩 高田 主岳
 顧 問 板谷 芳京 上田 一正 上田 穰一
 木羽 敏泰 酒井 忠雄 佐々木与志実 鈴木 正巳
 柘植 新 寺田喜久雄 永長 幸雄 中村 俊夫
 野村 俊明 原 稔 舟橋 重信 本浄 高治
 三輪 智夫 村田 旭 山田 真吉 山寺 秀雄
 参 与 宇野 文二 太田 清久 北川 邦行
 小泉 貞之 田口 茂 竹内 豊英 早川 和一
 樋上 照男 平出 正孝 湯地 昭夫
 監 事 井村 久則 手嶋 紀雄
 庶務幹事 小川 数馬
 会計幹事 安井 隆雄
 常任幹事 石田 康行 甲斐 穂高 倉光 英樹
 齊戸 美弘 高橋 透 平 修 巽 広輔
 柘植 明 長谷川 浩 藤本 忠蔵 松宮 弘明
 安井 孝志 リムリーフ
 幹 事 伊藤 雅章 今田 芳憲 江坂 幸宏
 太田 一徳 大谷 肇 大橋 芳明 奥山 修司
 香川 信之 加地 範臣 勝又 英之 金子 聡
 菅野 憲 儀賀 義勝 北出 和久 栗原 誠
 健名 智子 齊藤 彰良 篠原 直行 瀬戸 邦匡
 妹尾 健吾 高木 秀夫 高橋 史樹 高山 勝己
 田中 智一 賭場 陽 永谷 広久 丹羽 啓誌
 丹羽 敏之 東 由記雄 藤島夕喜代 藤原 将展

松村 繁樹 間中 淳 村上 博哉 山本 淳
 吉田 佳宏

② 研究発表会

1) 第47回中部化学関係学協会支部連合秋季大会（特別
 討論会）：11月5～6日、豊橋技術科学大学、招待講演
 2件、依頼講演2件、一般講演12件を行った（参加者
 80名）。

③ 講演会

1) 北陸地区講演会：6月24日、富山大学理学部多目的
 ホールで開催、講演3件を行った（参加者100名）。

2) 三重地区講演会：9月26日、鈴鹿工業高等専門学校
 で開催、講演3件を行った（参加者24名）。

3) 愛知地区講演会：8月31日、中部大学名古屋キャン
 パスで講習会と併せて開催、講演3件を行った（参加
 者39名）。

④ 講習会

1) 第26回基礎及び最新の分析化学講習会：8月30～31
 日、中部大学名古屋キャンパスで開催、講義8件を
 行った（参加者39名）。

⑤ セミナー

1) 第35回分析化学中部夏期セミナー：9月3日～9月
 4日、リトリートたくらで開催、ポスドク・プレドク依
 頼講演3件、新製品紹介講演5件、ポスター講演61件
 を行った（参加者104名）。

2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第16回高山フォー
 ラム：11月11～12日、高山市図書館お宿山久で開
 催、基調講演1件、優秀発表者による口頭発表、ポス
 ター発表67件を行った（参加者85名）。

【近畿支部】

① 役員を選任

支 部 長 前田 耕治
 次期支部長 辻 幸一
 副支部長 村松 康司 長谷川 健
 庶務幹事 久保 拓也 床波 志保
 会計幹事 丸尾 雅啓 鈴江 崇彦
 参 与 池田 重良 池田 篤治 池田 昌彦
 市村 彰男 大井 尚文 小川禎一郎 垣内 隆
 木原 壯林 木村 恵一 木村 優 紀本 岳志
 日下 譲 小島 次雄 佐伯 正夫 佐藤 昌憲
 田中 信男 田中 久 田中 稔 谷口 一雄
 千熊 正彦 辻 治雄 寺部 茂 中川 照眞
 中原 武利 藤田 芳一 藤原 英明 穂積啓一郎
 堀 智孝 増田 嘉孝 松井 正和 松下 隆之
 渡谷 文雄 八尾 俊男 脇阪 達司 渡辺 巖
 渡會 仁
 常任幹事 石原 進介 岩月 聡史 宇田 亮子
 遠藤 達郎 岡本 行広 久保登公二 倉内 奈美
 高原 晃里 瀧川 宏司 谷口 理 坪井 泰之
 藤居 義和 藤原 学 森澤 勇介 森田 成昭
 矢嶋 摂子 安川 智之 山本 茂樹
 幹 事 浅川 大地 荒川 隆一 飯田 琢也
 石井 裕子 石切山一彦 石田 正登 石濱 泰
 岩本 仁志 上田 啓太 上原 章寛 梅谷 重夫
 大石 晴樹 大内 幹雄 大塚 利行 大城 敬人
 大塚 浩二 岡田 邦弘 岡林 義人 尾崎 幸洋
 尾関 徹 小堤 和彦 小山 宗孝 糟野 潤
 門 晋平 加納 健司 柄谷 肇 河合 潤
 川井 隆之 川崎 英也 河田 聡 河野 宏彰
 川元 達彦 菊地 和也 北隅 優希 北出 達也
 木村 敦臣 久保田直哉 熊谷 哲 小池 亮
 小畑 俊嗣 小林 典裕 齊藤 惠逸 坂本 英文
 作花 哲夫 佐々木健次 佐々木隆之 佐藤 卓史
 椎木 弘 澁谷 康彦 下山 昌彦 白井 理
 末吉 健志 杉原 崇康 杉山 雅人 鈴木 茂生
 鈴木 哲仁 諏訪 雅頼 宗林 由樹 高木 達也
 高橋 弘樹 高山 透 竹田さほり 田中 章夫
 田中 陽 民谷 栄一 千葉 光一 茶山 健二
 塚越 一彦 塚原 聡 都築 英明 角井 伸次

壺井 基裕 土井 光暢 豊田 岐聡 内藤 豊裕
 永井 秀典 長岡 勉 中口 讓 中澤 隆
 中島 陽一 中岡 靖 中西 和樹 中原 佳夫
 中林 安雄 中山 茂吉 西 直哉 野田 達夫
 野村 聡 萩中 淳 橋本 紅良 張野 宏也
 東 昇 久本 秀明 藤嶽 暢英 藤森 啓一
 細矢 憲 堀田 弘樹 前田 初男 牧 秀志
 松尾 修司 松本 明弘 三木功次郎 三田村邦子
 三戸彩絵子 三野 芳紀 三宅 司郎 宮道 隆
 向井 浩 村上 正裕 森内 隆代 矢坂 裕太
 山垣 亮 山口 敬子 山崎 秀夫 山田 悦
 山田 隆 山本 雅博 横井 邦彦 吉田 裕美
 米倉 忠史 和田 豊仁

② 講演会

- 1) 第11回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3月17日、大阪科学技術センターで開催、表彰・受賞講演2件を行った。
- 2) 第1回支部講演会：4月15日、大阪科学技術センターで開催、講演1件を行った。
- 3) 第36回石橋雅義先生記念講演会(共催)：4月23日、京都大学楽友会館で開催、講演2件を行った。
- 4) 第2回支部講演会：12月9日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。

③ 講習会

- 1) ぶんせき講習会・基礎編その1：5月13日、大阪市立大学文化交流センターで開催、講演5件を行った(受講者76名)。
- 2) ぶんせき講習会・基礎編その2：6月24日、銚島津製作所関西支社で開催、講演1件と実習2件を行った(受講者20名)。
- 3) ぶんせき講習会・実践編(第63回機器による分析化学講習会)：7月22日、銚リガクで開催、講義2件と実習を行った(受講者26名)。
- 4) ぶんせき講習会・発展編：11月17日、大阪市立大学理学部で開催、講義2件と見学実習を行った(受講者7名)。

④ セミナー

- 1) 第10回平成夏季セミナー(ぶんせき秘帖)：7月28～29日、兵庫県たつの市赤とんぼ荘で開催、講演8件、ポスターセッションを行った(参加者86名)。
- 2) 第1回提案公募型セミナー：10月15～16日、京都大学白浜海の家で開催、講演4件を行った。(参加者15名)。

⑤ 支部ニュースを3回発行した。

【中国四国支部】

① 役員選任

支 部 長	田中 秀治				
次期支部長	金田 隆				
副支部長	吉屋 晴夫				
事務局長	早川慎二郎				
参 与	池田 早苗	今井 嘉彦	岩知道 正		
	大島 光子	奥村 稔	小倉興太郎	木ト 光夫	
	熊丸 尚宏	下村 滋	善木 道雄	田頭 昭二	
	竹味 弘勝	中野 恵文	林 康久	平田 静子	
	廣川 健	藤原 照文	升島 努	真鍋 敬	
	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	
	山崎 恒博				
監 事	伊藤 一明	若林 茂夫			
庶務幹事	菅原 庄吾	竹内 政樹	藤原 勇		
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	朝日 剛	阿部 一之	石坂 昌司		
	石徳 武	泉 雅典	今井 昭二	受田 浩之	
	榎本 秀一	岡 秀行	紙谷 浩之	北出 哲朗	
	北山 宏三	京野 一章	児玉 竜二	座古 保	
	鈴木 達也	清家 泰	高柳 俊夫	中山 雅晴	
	名郷 洋信	西 博行	原 哲也	引野 健治	
	藤原 薫	北條 正司	村上 良子	藪谷 智規	
	山岡 和則	横山 崇	和田 修治		

幹 事 浅野 比 安達 健太 新名 龍彦
 一色 健司 井上 裕文 片岡 洋行 勝 孝
 川村 邦男 島崎 洋次 竹永 史典 武安 伸幸
 谷村 俊史 永阪 文惣 中田 健一 難波 亨
 樋口 浩一 廣澤 礼文 淵脇 雄介 宝来佐和子
 森本 稔 門木 秀幸 山下 浩 山本 剛
 山本 孝 吉岡 徹 吉田 祐一 吉本 誠

② 研究発表会

- 1) 第36回キャピラリー電気泳動シンポジウム(共催)：2016年11月9日(水)～11日(金)徳島大学常三島キャンパス工業会館(徳島市)で開催。依頼講演13件、一般講演15件、ポスター発表15件、受賞講演1件の計44件の発表と機器展示2件も行った(参加者65名)。
- 2) 第13回ナノバイオインフォ化学シンポジウム(共催)：2016年12月10日(土)～11日(日)広島大学東広島キャンパス、学生会館レセプションホール(東広島市)で開催。講演30件を行った(参加人数80名)。

③ 講演会

- 1) 岡山地区講演会(岡山地区分析技術懇談会と共催)：2016年3月8日(火)岡山大学理学部で開催。招待講演1件、研究紹介7件を行った(参加者40名)。
- 2) 広島地区講演会(広島地区分析技術研究会と共催)：2016年度は開催せず。
- 3) 周南地区講演会(周南コンビナート分析研究会と共催)：2016年12月9日(金)、周南市学び・交流プラザにて開催。依頼講演3件を行った(参加者41名)。
- 4) 山口地区講演会(山口機器分析研究会と共催)：2016年12月2日(金)、山口大学 学生会館で開催。依頼講演1件、ポスター発表11件を行った(参加者68名)。
- 5) 宇部地区講演会：2016年度は開催せず。開催の場合は宇部地区分析技術研究会と共催
- 6) 愛媛地区講演会(愛媛地区分析技術懇談会と共催)：2016年3月16日(水)、愛媛県産業技術総合研究所紙産業技術センターにて開催。講演2件を行った(参加者50名)。
- 7) 徳島地区講演会(徳島地区分析技術研究会・徳島化学工学懇話会と共催)：2017年1月20日(金)、徳島大学理工学部にて開催。依頼講演2件と一般講演2件を行った(参加者55名)。
- 8) 鳥取地区講演会(鳥取総合分析研究懇談会と共催)：2017年1月20日(土)、鳥取大学VBL棟1階セミナー室にて開催、講演3件を行った(参加者31名)。
- 9) 島根地区講演会(島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催)：2016年度は開催せず。
- 10) 高知地区講演会(高知地区分析技術懇談会と共催)：2016年12月10日(土)高知大学朝倉キャンパスにて開催。講演2件を行った(参加者45名)。

④ 講習会

第53回分析化学講習会：2016年8月18日(木)、19日(金)、山口大学吉田キャンパスにて開催。「今を知り過去と未来につながる分析化学～異物の分析～」の主題で、特別講演2件、講義9件、ランチオンセミナー2件、実習10種類および情報交換会を行った(参加登録者55名)。実行委員長 村上良子(山口大院創成科学)

⑥ セミナー

第22回中国四国支部分析化学若手セミナー：2016年7月9日(土)、10日(日)、島根県職員会館および島根大学総合理工学部(島根県松江市)で開催。依頼講演2件、ポスター発表16件および情報交換会を行った(参加者37名)。世話人 菅原庄吾(島根大院総合理工)

【九州支部】

① 役員選任の件

支 部 長	竹中 繁織			
次期支部長	戸田 敬			
副支部長	王子田彰夫	満尾 良弘		
参 与	飯盛喜代春	石黒 慎一	岩崎 正武	
	大森 保	鎌田 薩男	合屋周次郎	小林 宏

財津 潔 城 昭典 高館 明 竹田津富次
 田端 正明 出口 俊雄 中村 博 増田 義人
 松本 清

監 査 木下 将和 肥後 盛秀
 庶務幹事 佐藤しのぶ
 会計幹事 末田 慎二
 常任幹事 井倉 則之 井上 高教 井原 敏博
 岡上 吉広 川上 健次 河津 博文 神崎 亮
 黒田 直敬 塩路 幸生 浜瀬 健司 原田 雅章
 松田 直樹 森 健

幹 事 新垣 雄光 安藤 功 池上 天
 石岡 寿雄 石川 洋哉 石田 雄士 今坂藤太郎
 今任 稔彦 岩永 達人 宇都宮 聡 内海 英雄
 大浦 博樹 大木 章 大島 達也 大渡 啓介
 大庭 義史 大平 慎一 落合 宏寿 尾本 憲昭
 甲斐 雅亮 片山 佳樹 加藤 祐子 梶島 力
 梶島 正美 岸川 直哉 喜納 兼勇 蔵脇 淳一
 栗崎 敏 栗原 龍 黒木 広明 呉 行正
 児玉谷 仁 財津 慎一 笹木 圭子 佐藤 正雄
 佐藤 博 澤津橋徹哉 柴田 孝之 下田 満哉
 白土 英樹 宗 伸明 高橋 浩司 高椋 利幸
 田口 博幸 竹原 公 田中 明 田中 充
 谷口 功 富安 卓滋 長澤 満明 中島憲一郎
 中嶋 直敏 中島 俊男 中島 常憲 中園 学
 中武 貞文 中野 幸二 中山 守雄 新留 康郎
 西田 正志 二村 和孝 能田 均 野口 英行
 野間 誠司 馬場 由成 原口 浩一 原田 明
 前田 明広 増田 寿伸 又吉 直子 松井 利郎
 松岡 信明 松田 賢士 松野 康二 松森 信明
 満塩 勝 村田 正治 安田みどり 柳 雅之
 藪下 彰啓 山口 敏男 山口 英敬 山口 政俊
 山田 淳 横山 拓史 吉塚 和治 吉田 亨次
 吉田 秀幸 吉田 祐一 吉留 俊史 吉村 和久
 脇田 久伸 和田 光弘

平成 29 年度事業計画書

(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

1. 定時総会の開催 (定款第 17 条)
 第 5 回定時総会を下記のとおり行う。
 日時 平成 29 年 5 月 9 日 (火) 14 時より
 場所 アリアル五反田駅前ビル会議室 (東京都品川区西
 五反田 1-29-3)
 参加予定者数 120 人。
2. 会誌, 研究報告および資料の刊行 (定款第 5 条(1))
 - ①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。
 2017 年第 3 号～2018 年第 2 号 毎月 1 回, 5 日に発行
 (各号 A4 判, 100 ページ)
 発行部数 6,300
 - ②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。
 第 66 巻第 3 号～第 67 巻第 2 号を毎月 1 回, 5 日に発行
 (各号 A4 判, 70 ページ)
 発行部数 2,100
 - ③英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行す
 る。
 Vol. 33, No. 3～Vol. 34, No. 2 を毎月 1 回, 10 日に発行
 (各号 A4 判, 136 ページ)
 発行部数 640
 - ④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のと
 おり発行する。
 Vol. 33, No. 3～Vol. 34, No. 2 を毎月 1 回発行 (web のみ
 による無料公開)。
 - ⑤メールマガジンを発行する。
 - ⑥「分析士試験問題の解説」(本会)等の書籍を出版する。
3. 講演会, 講習会および研究会の開催 (定款第 5 条(2))
 各支部ならびに懇談会が主催するものは別に記載する。
 - ①研究発表会
 ※第 77 回分析化学討論会を下記のとおり行う。
 日時:平成 29 年 5 月 27 日 (土)・28 日 (日)
 場所:龍谷大学深草学舎 (京都市) 参加予定者数 800
 人, 演題数 500 件
 分析化学討論会において産業界 R&D 紹介ポスターを行
 う予定。
 ※第 66 年会を下記のとおり行う。
 日時:平成 29 年 9 月 9 日 (土)～12 日 (火)
 場所:東京理科大学葛飾キャンパス (東京都葛飾区) 参
 加予定者数 1,350 人
 演題数 800 件
 - ②講習会 参加予定者数:合計 300 名
 予定テーマ
 水中の微量金属成分分析講習会
 金属分析技術セミナー
 ダイオキシン類分析技術セミナー
 セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー
 分析化学基礎セミナー (無機分析編)
 分析化学の基本と安全セミナー
 分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー
4. 調査, 研究および建議 (定款第 5 条(3))
 - ①JIS
 日本規格協会より受諾した下記の制定案のフォロー及び公
 募予定の下記案件を改正する。
 - ・分析化学用語 (熱分析部門) 制定審議への参加
 - ・化学分析方法通則 (JIS K 0050) 改正案作成
 - ②技能試験
 参加予定試験所数:合計 280 試験所
 ISO/IEC17043 に基づく分析試験所技能試験を行う。
 予定テーマ
 - ・ダイオキシン類成分分析 70 試験所
 - ・プラスチック中有害金属成分の分析 70 試験所

② 研究発表会

- 1) 第 53 回化学関連支部合同九州大会 (共催):7 月 2
 日, 北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表 4 件
 を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。
- 2) 第 33 回イオンクロマトグラフィー討論会 (共催):
 12 月 1 日～2 日, 熊本市国際交流会館で開催。
- ③ 講演会
 - 1) 第 28 回九州分析化学若手の会・春の講演会 (主催):
 5 月 14 日, 福岡大学 中央図書館多目的ホールで開催。
 - 2) 機器分析ワークショップ (主催):7 月 20 日 (熊本大
 学工学部), 10 月 26 日 (大分大学)で開催。
 - 3) 分析化学会九州支部創立 60 周年記念会 (主催):11
 月 18 日, 北九州国際会議場で開催。
- ④ 講習会
 - 1) 第 57 回分析化学講習会 (主催):8 月 3～5 日, 九州
 大学伊都キャンパス, 福岡市産学連携交流センター,
 福岡大学理学部で開催。
- ⑤ セミナー
 - 1) 第 34 回九州分析化学若手の会・夏季セミナー (主
 催):7 月 29 日～30 日, みるきーすばサンビレッジで
 開催。優秀ポスター発表 7 件を「九州分析化学若手賞」
 として表彰。
- ⑥ 支部ニュース
 支部ニュース第 34 号 (8 月) 及び第 35 号 (3 月) を発
 行。

- ・トレーサビリティと不確かさ理解のための
分析技能試験 40 試験所
- ・食品分析技能試験 40 試験所
- ・放射能分析技能試験 60 試験所
- ・残留農薬分析技能試験 20 試験所

③標準物質

これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。そのために在庫切れ品の補給と安定性試験を行う。

- ・在庫切れ品の補給：河川水標準物質
- ・安定性試験：プラスチック、ダイオキシン（土壌）、河川水 各標準物質

④教育用 DVD

- ・現在頒布中の教育用ビデオを発展させた DVD 教材の開発のために作業を行う。

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第 5 条(4)）

①学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、「分析化学」論文賞ならびに先端分析技術賞を下記のとおり表彰する。

学会賞（3 名以内）、学会功労賞（5 名以内）、技術功績賞（3 名以内）、奨励賞（5 名以内）、有功賞（50 名程度）、「分析化学」論文賞（1 名）
先端分析技術賞（3 名以内）

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条(5)）

①分析士認証試験を次のとおり行う。

液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～五段の各段位

LC/MS 分析士認証試験 初段～五段の各段位

イオンクロマトグラフィー分析士 初段、二段、三段

②分析士会を開催して講演会等の活動を行う。

③アジアの分析化学者との連携をはかるために Asian Analytical Chemistry Network のホームページを運用する。

④本会の活動ならび学術・技術の重要性をホームページ、各種展示、分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および記者会見などを通じて広報する。

⑤若手交流会の活動を次のとおり行う。

各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。
分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行う。

⑥全国若手交流会

全国若手シンポジウム（5 月）を分析化学討論会（龍谷大学、5 月）に併せて開催する。他、各支部ならびに本部若手関連事業への人的ならびに金銭的補助を行い、全国若手研究者間の交流活性化を図る。

7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

委員会を 2 回、第 84 回有機微量分析研究懇談会シンポジウム（計測自動制御学会・化学量計測部会、大阪大学大学院工学研究科技術部と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）を 6 月に大阪府吹田市（大阪大学吹田キャンパス銀杏会館）、講演会（第 66 年會会期中）、第 11・12 回マイクロ電子天びん技術研修会、および第 6 回マイクロ電子天びんセミナー（座学）、第 1・2 回不確かさセミナーを開催するほか、会報第 19 号（2018 年 2 月）を発行する。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回、特別講演会、講習会（実習付含む）を開催する。例会の中で基礎講座を開催する（受講証を発行）。地方での研究懇談会活動を行う。分析化学年会で特別講演会を開催する。本部運営となった日中韓シンポジウムの開催（日本）に LC, IC, FIA, 環境分析各研究懇談会と協力する。JAIMA コンファレンスで講習会・講演会を実施す

る。ガスクロマトグラフィー誕生 60 周年事業としてアーカイブを作成する。研究会開催 350 回記念事業を行う。講習会用テキストを整備する。研究懇談会活動の過去ログ、講演会資料等をホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。

③高分子分析研究懇談会

例会を 5 回（うち 1 回は 1 泊 2 日の夏期合宿として開催）、高分子分析技術講習会を 2 回（前期：基礎編、後期：応用編）、第 22 回高分子分析討論会を開催する。

④X 線分析研究懇談会

例会を数回（うち 1 回は年會時に開催）、第 53 回 X 線分析討論会（10 月、徳島）を開催するほか、「X 線分析の進歩」誌（48 集）を出版する。運営委員会は 2 回開催する。

⑤分析試薬研究懇談会

第 66 年會での講演会と幹事会および第 15 回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム（共催：立命館大学びわこ・くさつキャンパス、6 月）での招待講演を開催する。

⑥溶液界面研究懇談会

講演会、懇談会を各 1 回（第 66 年會会期中）開催するほか、メールによる情報交換を行う。また、年會において界面に関するセッションを継続して開催できるように年會実行委員会への働きかけを行う。

⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を 11 回、例会を 12 回（うち 1 回は年會時に開催）、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を 2 回、第 23 回 LC & LC/MS テクノプラザ、LC & LC/MS DAYS 2017 を開催する。関東支部機器分析講習会第 2 コース「HPLC と LC/MS の基礎と実践」、JAIMA セミナーにおける HPLC 講習会などを支援する。「第 2 回 LC/MS 分析士二段試験解説書」の出版に向け、それぞれ 2 日間の査読会を実施する。

⑧化学センサー研究懇談会

懇談会講演会（9 月、分析化学会年會会期中）を開催するほか、他の学協会と共同で化学センサー・バイオセンサー関連シンポジウムを開催する。またセンサーに関する案内や資料を随時配付する。

⑨電気泳動分析研究懇談会

講演会を 1 回（分析化学会年會会期中）開催するほか、第 37 回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE 2017）（11 月、仙台）を開催する。電気泳動分析研究懇談会賞（寺部茂賞）の選考を行う。また、本懇談会ホームページ（HP）の整備を行い、シンポジウムの要旨集アーカイブの HP 上での公開ほか、内容の充実を図る。

⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会

IC 講習会、SS 講演会（9 月、JAIMA）、IC 講演会（9 月、第 66 年會、東京理科大学）、日中韓分析化学シンポジウム（日本）に GC, LC, FIA, 環境分析各研究懇談会と協力する。第 8 回 APIA（10 月、北京）に協力する。第 34 回 IC 討論会（12 月、広島）を予定。運営委員会を 2 回開催予定。IC 分析士認証試験（初段）の実施を予定。

⑪フローインジェクション分析研究懇談会

第 54 回 FIA 講演会（12 月、岡山理科大学）を開催する。褒賞委員会を第 66 年會（9 月、東京理科大学）会期中に開催する。第 77 回分析化学討論会（5 月、龍谷大学）および第 54 回 FIA 講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」（JFIA）誌編集委員会を開催するほか、第 54 回 FIA 講演会中に FIA 委員会を開催する。JFIA 誌を 2 回（6 月、12 月）発行する。21st International Conference on Flow Injection Analysis（9 月、ロシア）の共催を行う。JAIMA セミナー（9 月、幕張メッセ国際会議場予定）において「これであなたも専門家一流分析編」に共催する。日中韓分析化学シンポジウム（9 月、東京）に対して、GC, LC, IC, 環境分析研究懇談会と合同で開催に協力する。

⑫環境分析研究懇談会

講演会を 3 回（6 月、第 66 年會会期中、11 月）、幹事会（第 66 年會会期中）を 1 回開催する。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。

- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回(第66年会会期中および年度前半・後半)、運営委員会を2回開催する。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会
講演会を2回(第66年会会期中および6月または12月)、運営委員会を1回(第66年会会期中)開催する。また必要に応じ他の研究懇談会とのジョイント講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑮熱分析研究懇談会
講演会を2回(9月、第66年会会期中および12月)開催予定。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。分析化学用語(熱分析)JIS原案の完成。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回(いずれも日本分析化学会第66年会中)開催する。溶液化学シンポジウム(11月、姫路)を共催する。メーリングリストを作成し適宜情報交換を行う。
- ⑰受託分析研究懇談会
総会とセミナー(11月)および見学会(6月)を各1回行う他、例会(技術情報交換会および運営委員会)を4回開催する。他の研究懇談会等とも交流を深めるとともに、会員間の情報交換を活発に行い、会員拡充を図る。
- ⑱電気分析化学研究懇談会
5月の第77回討論会で懇談会が提案した討論主題「分野を超えて生きる電気分析化学」にてシンポジウムを開催する。その他に、講演会、運営委員会を各1回、第66年会会期中に開催するほか、メールによる情報交換を行う。第66年会の国際的取り組みに協力する。発足2年目を迎えて、運営委員会をさらに拡充、充実させる。
- ⑲ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会(平成29年度新設)
本研究懇談会は、微細加工デバイス・ペーパー分析デバイス・簡易分析法などナノ・マイクロ空間・物質を活用する化学分析、ナノ粒子・エアロゾルなどナノ・マイクロ空間の化学を解明する分析、またこれらに関連する基礎化学・分析応用に関する研究や交流を行い、この分野の振興を図ることを目的として当面次の事業を行う。研究懇談会(随時)、研究発表会、年会・討論会におけるシンポジウム、講習会などの開催、共同研究ほか。

8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

1. 夏季研究発表会(7月)、冬季研究発表会(1月下旬)を開催する。
2. 化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
3. 第33回分析化学緑陰セミナー(6月)、公開セミナー(9月)、第53回水雪セミナー(1月上旬)を開催する。
4. 支部ニュース(7月、12月)を発行する。

【東北支部】

1. 研究発表会:みちのく分析科学シンポジウム2017、平成29年度化学系学協会東北大会を開催する。

2. 講演会:各地区講演会を開催する。
3. セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2017、第34回無機・分析化学コロキウム、平成29年度日本分析化学会東北支部若手交流会を開催する。

【関東支部】

1. 講習会:第58回機器分析講習会、分析化学基礎実習講座を開催する。
2. 講演会:新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、新世紀賞・新世紀新人賞講演会、千葉地区交流会、新年交流会のほか、随時開催する。
3. セミナー:分析化学若手交流会のほか、随時開催する。
4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。

【中部支部】

1. 研究発表会:第48回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月、岐阜大学)を共催の予定。
2. 講演会:愛知・信州・石川での地区講演会、および研究者招聘講演会の開催を予定
3. 講習会:第27回基礎および最新の分析化学講習会を開催の予定。
4. セミナー:第36回分析化学中部夏期セミナー(8月29日・30日、高山市)、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第17回高山フォーラム(11月11日・12日、高山市図書館)を開催の予定。

【近畿支部】

1. 講演会:支部講演会(4月、7月、12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催の予定。
2. 講習会:ぶんせき講習会・基礎編(1,2)(5月、6月)、同・実践編(第64回機器による分析化学講習会)(7月)、同・発展編(11月)を開催の予定。
3. セミナー:提案公募型事業(随時)、第11回平成夏季セミナー「ぶんせき秘帖」(8月、淡路島)を開催の予定。
4. 支部ニュースの発行(随時)

【中国四国支部】

1. 講演会:岡山・広島・周南・宇部・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を開催の予定。
2. 講習会:第54回分析化学講習会(8月、愛媛)を開催の予定。
3. セミナー:第23回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月または8月、山口)を開催の予定。

【九州支部】

1. 研究発表会:第54回化学関連支部合同九州大会(6月)を開催の予定。
2. 講演会:第30回春の研究講演会(5月)、第35回夏季セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
3. 講習会:第58回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
4. その他:地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

平成 28 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 29 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	156,378,513	149,105,379	7,273,134
売掛金	2,240,460	2,464,236	△223,776
未収掛金	3,936,055	4,713,382	△777,327
未収利益	0	0	0
棚卸資産	26,867,529	26,555,722	311,807
貯蔵品	113,308	123,885	△10,577
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	857,674	4,673,785	△3,816,111
仮払金	603,362	961,975	△358,613
流動資産合計	191,196,821	188,798,284	2,398,537
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	2,267,398	2,267,376	22
標準物質開発基金	34,776,353	34,770,494	5,859
分析技術教育基金	12,983,105	12,980,270	2,835
国際交流事業基金	20,643,410	20,643,206	204
分析化学研究奨励基金	8,376,749	8,374,654	2,095
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	22,160,792	22,741,057	△580,265
特定資産合計	112,207,807	112,777,057	△569,250
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建物	11,262,852	11,793,563	△530,711
器具備品	22,690	83,588	△60,898
土地	30,607,799	30,607,799	0
商標	23,606	98,446	△74,840
ソフトウェア	0	0	0
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	2,127,720	2,327,640	△199,920
その他固定資産合計	44,172,667	45,039,036	△866,369
固定資産合計	166,380,474	167,816,093	△1,435,619
資 産 合 計	357,577,295	356,614,377	962,918
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	8,047,641	9,666,505	△1,618,864
前受金	40,038,800	40,624,600	△585,800
前受掛料	4,107,250	4,331,250	△224,000
前受り金	1,190,000	990,000	200,000
預り金	856,313	4,426,567	△3,570,254
仮受金	79,585	85,265	△5,680
賞与引当金	2,196,186	2,252,313	△56,127
未払消費税等(注)	1,684,500	2,825,800	△1,141,300
流動負債合計	58,200,275	65,202,300	△7,002,025
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	37,697,967	36,410,510	1,287,457
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	48,697,967	47,410,510	1,287,457
負 債 合 計	106,898,242	112,612,810	△5,714,568
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
民間補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	250,679,053	244,001,567	6,677,486
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正 味 財 産 合 計	250,679,053	244,001,567	6,677,486
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	357,577,295	356,614,377	962,918

貸借対照表内訳表

(平成29年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現金	111,217,336	45,161,177	0	156,378,513
預金	2,240,460	0	0	2,240,460
掛金	0	3,936,055	0	3,936,055
未収	0	0	0	0
未収掛金	26,867,529	0	0	26,867,529
棚卸資産	0	113,308	0	113,308
貯蔵品	0	199,920	0	199,920
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	0	199,920
前払金	815,014	42,660	0	857,674
仮払金	29,160	574,202	0	603,362
流動資産合計	141,169,499	50,027,322	0	191,196,821
2. 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
基本財産	0	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特 定 資 産				
退職給付引当資産	0	2,267,398	0	2,267,398
標準物質開発基金	0	34,776,353	0	34,776,353
分析技術教育基金	0	12,983,105	0	12,983,105
国際交流事業基金	0	20,643,410	0	20,643,410
分析化学研究奨励基金	8,376,749	0	0	8,376,749
預り保証金引当預金	0	11,000,000	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	22,160,792	0	0	22,160,792
特定資産合計	30,537,541	81,670,266	0	112,207,807
(3) そ の 他 の 固 定 資 産				
建物	10,440,169	822,683	0	11,262,852
器具備品	17,668	5,022	0	22,690
土地	29,513,936	1,093,863	0	30,607,799
商標	23,606	0	0	23,606
ソフトウェア	0	0	0	0
電話加入権	26,320	1,680	0	28,000
敷金	94,000	6,000	0	100,000
長期貸付金	0	2,127,720	0	2,127,720
その他の固定資産合計	40,115,699	4,056,968	0	44,172,667
固定資産合計	70,653,240	95,727,234	0	166,380,474
資 産 合 計	211,822,739	145,754,556	0	357,577,295
II 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
未払金	0	8,047,641	0	8,047,641
前受金	0	40,038,800	0	40,038,800
前受購読料	4,107,250	0	0	4,107,250
前受り金	1,190,000	0	0	1,190,000
預り金	230,160	626,153	0	856,313
仮受金	79,585	0	0	79,585
賞与引当金	1,374,812	821,374	0	2,196,186
未払消費税等	1,684,500	0	0	1,684,500
流動負債合計	8,666,307	49,533,968	0	58,200,275
2. 固 定 負 債				
退職給付引当金	5,715,920	31,982,047	0	37,697,967
預り保証金	11,000,000	0	0	11,000,000
固定負債合計	16,715,920	31,982,047	0	48,697,967
負 債 合 計	25,382,227	81,516,015	0	106,898,242
III 正 味 財 産 の 部				
1. 指 定 正 味 財 産				
民間補助金	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	186,440,512	64,238,541	0	250,679,053
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
正 味 財 産 合 計	186,440,512	64,238,541	0	250,679,053
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	211,822,739	145,754,556	0	357,577,295

正味財産増減計算書

(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	22,035	7,000	15,035
基本財産運用益	22,035	7,000	15,035
特定資産運用益	15,785	67,481	△14,696
退職給付引当資産運用益	22	14,881	△14,859
標準物質開発基金運用益	5,859	27,494	△21,635
分析技術教育基金運用益	2,835	8,891	△6,056
国際交流事業基金運用益	204	5,554	△5,350
分析化学研究奨励基金運用益	2,095	2,091	4
預り保証金引当預金運用益	2,757	2,750	7
支部研究懇談会特定預金運用益	2,013	5,820	△3,807
受取入金	186,000	205,000	△19,000
受取会費	87,896,647	90,309,984	△2,413,337
正会員会費	33,457,500	34,662,500	△1,205,000
学生会員会費	2,386,500	1,989,000	397,500
維持会会費	17,038,500	17,579,100	△540,600
特別会員会費	16,369,500	16,868,100	△498,600
公益会員会費	11,294,900	11,790,000	△495,100
支部研究会受取会費	7,349,747	7,421,284	△71,537
賛助会費	0	0	0
事業収益	130,057,214	133,792,701	△3,735,487
購読料収入	7,028,664	5,871,377	1,157,287
年會収入	9,834,260	8,986,112	848,148
討論会収入	13,083,358	13,800,203	△716,845
講演会収入	4,951,236	3,752,474	1,198,762
講習会収入	23,135,186	22,555,734	579,452
研究懇談会収入	878,166	1,031,409	△153,243
技能試験収入	12,096,001	11,326,500	769,501
分析士事業収入	3,895,998	4,370,076	△474,078
S S 収入	0	0	0
印税収入	481,909	961,443	△479,534
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,274,500	1,955,000	319,500
標準物質頒布収入	18,554,645	21,568,162	△3,013,517
広告料収入	26,134,329	28,939,740	△2,805,411
別刷頒布収入	6,348,244	8,137,949	△1,789,705
複写権使用料収入	184,791	536,522	△351,731
技能試験受託収入	0	0	0
J I S 改正受託収入	1,175,927	0	1,175,927
受取補助金等	20,947,600	16,883,800	4,063,800
受取国庫補助金	17,600,000	14,300,000	3,300,000
受取民間補助金	2,780,000	2,105,000	675,000
受取自治体補助金	567,600	478,800	88,800
受取寄附金	210,000	84,000	126,000
受取寄附金	210,000	84,000	126,000
雑収入	621,098	1,109,261	△488,163
受取利息	60,055	80,941	△20,886
雑収入	561,043	1,028,320	△467,277
経常収益計	239,956,379	242,459,227	△2,502,848
(2) 経常費用			
事業費用	185,238,788	193,481,338	△8,242,550
給料手当	22,015,927	22,277,552	△261,625
臨時雇賃金	18,828,220	17,320,653	1,507,567
退職給付費用	1,571,405	4,486,295	△2,914,890
法定福利費	6,128,234	3,379,486	2,748,748
福厚生	0	0	0
会費	20,925,787	21,772,399	△846,612
旅費	17,434,554	17,466,336	△31,782
通信運搬費	3,512,635	3,708,566	△195,931
減価償却費	630,952	1,332,979	△702,027
修繕費	758,792	781,979	△23,187
消耗品費	4,620,278	4,243,520	376,758

正味財産増減計算書

(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
印 刷 製 本 費	30,609,985	33,768,649	△3,158,664
光 熱 水 料 費	189,437	215,256	△25,819
賃 借 料 料 費	100,000	0	100,000
支 払 一 料 料 費	862,998	602,439	260,559
保 険 謝 金 料 料 費	71,149	37,167	33,982
諸 租 税 公 課 金 料 料 費	8,605,613	10,084,269	△1,478,656
支 払 負 担 金 料 料 費	5,407,678	5,075,063	332,615
支 払 助 託 成 金 料 料 費	657,326	390,968	266,358
委 託 彰 費 料 料 費	599,434	1,189,200	△589,766
表 彰 費 料 料 費	38,457,622	41,799,142	△3,341,520
雑 費 料 料 費	2,388,939	2,503,632	△114,693
管 理 費 料 料 費	861,823	1,045,788	△183,965
給 料 手 賃 料 料 料 費	48,040,105	53,191,054	△5,150,949
臨 時 雇 賃 料 料 料 費	15,340,069	15,200,899	139,170
退 職 給 付 費 料 料 料 費	10,269,900	12,299,373	△2,029,473
法 定 福 厚 利 生 費 料 料 料 費	392,852	2,800,311	△2,407,459
福 会 旅 費 信 通 費 料 料 料 費	1,532,059	4,401,234	△2,869,175
通 信 信 用 費 料 料 料 費	58,724	59,427	△703
減 価 償 却 費 料 料 料 費	267,475	169,762	97,713
修 繕 費 料 料 料 費	3,177,992	4,076,366	△898,374
消 耗 品 費 料 料 料 費	1,456,881	1,352,899	103,982
印 刷 製 本 費 料 料 料 費	35,497	34,920	577
光 熱 水 料 料 料 費	545,149	550,351	△5,202
賃 借 料 料 料 料 費	1,019,426	408,634	610,792
支 払 一 料 料 料 料 費	298,600	150,500	148,100
保 険 謝 金 料 料 料 料 費	122,964	202,835	△79,871
諸 租 税 公 課 金 料 料 料 料 費	209,293	197,118	12,175
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 費	2,881,780	2,504,060	377,720
支 払 負 担 金 料 料 料 料 料 料 費	0	0	0
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 費	0	0	0
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 費	21,900	7,745	14,155
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 料 費	1,659,497	1,641,200	18,297
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 費	0	0	0
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 費	8,652,615	7,055,671	1,596,944
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 費	0	0	0
支 払 助 託 成 金 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 費	97,432	77,749	19,683
経 常 費 用 計	233,278,893	246,672,392	△13,393,499
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	6,677,486	△4,213,165	10,890,651
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	6,677,486	△4,213,165	10,890,651
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
固 定 資 産 売 却 益	0	1,590,462	△1,590,462
経 常 外 収 益 計	0	1,590,462	△1,590,462
(2) 経 常 外 費 用	0	14,175	△14,175
経 常 外 費 用 計	0	14,175	△14,175
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	6,677,486	△2,636,878	9,314,364
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	244,001,567	246,638,445	△2,636,878
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	250,679,053	244,001,567	6,677,486
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金 等	0	0	0
受 取 民 間 補 助 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	250,679,053	244,001,567	6,677,486

正味財産増減計算書内訳表

(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	22,035	0	22,035
基本財産運用益	0	22,035	0	22,035
特定資産運用益	4,108	11,677	0	15,785
退職給付引当資産運用益	0	22	0	22
標準物質開発基金運用益	0	5,859	0	5,859
分析技術教育基金運用益	0	2,835	0	2,835
国際交流事業基金運用益	0	204	0	204
分析化学研究奨励基金運用益	2,095	0	0	2,095
預り保証金引当預金運用益	0	2,757	0	2,757
支部研究懇談会特定預金運用益	2,013	0	0	2,013
受取入金会費	0	186,000	0	186,000
受取会費	55,677,887	32,218,760	0	87,896,647
正会員会費	20,074,500	13,383,000	0	33,457,500
学生会員会費	1,431,900	954,600	0	2,386,500
維持会員会費	10,223,100	6,815,400	0	17,038,500
特別会員会費	9,821,700	6,547,800	0	16,369,500
公益支部研究懇談会会費	6,776,940	4,517,960	0	11,294,900
支部研究懇談会会費	7,349,747	0	0	7,349,747
賛助会員会費	0	0	0	0
事業収益	104,045,777	26,011,437	0	130,057,214
購読料収入	5,622,932	1,405,732	0	7,028,664
年会収入	7,867,408	1,966,852	0	9,834,260
討論会収入	10,466,687	2,616,671	0	13,083,358
講演収入	3,960,989	990,247	0	4,951,236
講習会収入	18,508,149	4,627,037	0	23,135,186
研究懇談会収入	702,533	175,633	0	878,166
技能試験収入	9,676,801	2,419,200	0	12,096,001
分析士事業収入	3,116,799	779,199	0	3,895,998
S S 収入	0	0	0	0
印税収入	385,528	96,381	0	481,909
教育ビデオ・DVD頒布収入	1,819,600	454,900	0	2,274,500
標準物質頒布収入	14,843,716	3,710,929	0	18,554,645
広告料収入	20,907,464	5,226,865	0	26,134,329
別刷頒布収入	5,078,596	1,269,648	0	6,348,244
複写権使用料収入	147,833	36,958	0	184,791
技能試験受託収入	0	0	0	0
J I S 改正受託収入	940,742	235,185	0	1,175,927
受取補助金等	20,947,600	0	0	20,947,600
受取国庫補助金	17,600,000	0	0	17,600,000
受取民間補助金	2,780,000	0	0	2,780,000
受取自治体補助金	567,600	0	0	567,600
受取寄附金	210,000	0	0	210,000
受取寄附金	210,000	0	0	210,000
雑収入	536,342	84,756	0	621,098
受取利息	3,309	56,746	0	60,055
雑収入	533,033	28,010	0	561,043
経常収益計	181,421,714	58,534,665	0	239,956,379
(2) 経常費用				
事業費	185,238,788	0	0	185,238,788
給料手当	22,015,927	0	0	22,015,927
臨時雇賃金	18,828,220	0	0	18,828,220
退職給付費用	1,571,405	0	0	1,571,405
法定福利費	6,128,234	0	0	6,128,234
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	20,925,787	0	0	20,925,787
旅費交通費	17,434,554	0	0	17,434,554
通信運搬費	3,512,635	0	0	3,512,635
減価償却費	630,952	0	0	630,952
修繕費	758,792	0	0	758,792

正味財産増減計算書内訳表

(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消 耗 品 費	4,620,278	0	0	4,620,278
印 刷 製 本 費	30,609,985	0	0	30,609,985
光 熱 水 料 費	189,437	0	0	189,437
賃 借 料	100,000	0	0	100,000
支 払 一 入 料	862,998	0	0	862,998
保 険 料	71,149	0	0	71,149
諸 謝 金	8,605,613	0	0	8,605,613
租 税 公 課	5,407,678	0	0	5,407,678
支 払 負 担 金	657,326	0	0	657,326
支 払 助 成 金	599,434	0	0	599,434
委 託 彰 費	38,457,622	0	0	38,457,622
表 彰 費	2,388,939	0	0	2,388,939
雑 費	861,823	0	0	861,823
管 理 費	0	48,040,105	0	48,040,105
給 料 手 当	0	15,340,069	0	15,340,069
臨 時 雇 賃 金	0	10,269,900	0	10,269,900
退 職 給 付 費	0	392,852	0	392,852
法 定 福 利 費	0	1,532,059	0	1,532,059
福 厚 生 費	0	58,724	0	58,724
会 議 費	0	267,475	0	267,475
旅 費 交 通 費	0	3,177,992	0	3,177,992
通 信 運 搬 費	0	1,456,881	0	1,456,881
減 価 償 却 費	0	35,497	0	35,497
消 耗 品 費	0	1,019,426	0	1,019,426
修 繕 費	0	545,149	0	545,149
印 刷 製 本 費	0	298,600	0	298,600
光 熱 水 料 費	0	122,964	0	122,964
賃 借 料	0	209,293	0	209,293
支 払 一 入 料	0	2,881,780	0	2,881,780
諸 謝 金	0	0	0	0
租 税 公 課	0	21,900	0	21,900
支 払 負 担 金	0	1,659,497	0	1,659,497
委 託 彰 費	0	8,652,615	0	8,652,615
表 彰 費	0	0	0	0
雑 費	0	97,432	0	97,432
経 常 費 用 計	185,238,788	48,040,105	0	233,278,893
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,817,074	10,494,560	0	6,677,486
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△3,817,074	10,494,560	0	6,677,486
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0		0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△3,817,074	10,494,560	0	6,677,486
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	190,257,586	53,743,981	0	244,001,567
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	186,440,512	64,238,541	0	250,679,053
II 指定正味財産増減の部				0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	186,440,512	64,238,541	0	250,679,053

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)

器具備品…定率法を採用している。

無形固定資産

ソフトウェア・商標権…定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	2,267,376	22	0	2,267,398
標準物質開発基金	34,770,494	5,859	0	34,776,353
分析技術教育基金	12,980,270	2,835	0	12,983,105
国際交流事業基金	20,643,206	204	0	20,643,410
分析化学研究奨励基金	8,374,654	2,095	0	8,376,749
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	22,741,057	1,853	582,118	22,160,792
小 計	112,777,057	12,868	582,118	112,207,807
合 計	122,777,057	12,868	582,118	122,207,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特 定 資 産				
退職給付引当資産	2,267,398	—	—	(2,267,398)
標準物質開発基金	34,776,353	—	(34,776,353)	—
分析技術教育基金	12,983,105	—	(12,983,105)	—
国際交流事業基金	20,643,410	—	(20,643,410)	—
分析化学研究奨励基金	8,376,749	—	(8,376,749)	—
預り保証金引当預金	11,000,000	—	—	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	22,160,792	—	(22,160,792)	—
小 計	112,207,807	—	(98,940,409)	(13,267,398)
合 計	122,207,807	—	(108,940,409)	(13,267,398)

財務諸表に対する注記

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	57,522,500	46,259,648	11,262,852
器 具 備 品	5,779,913	5,757,223	22,690
合 計	63,302,413	52,016,871	11,285,542

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 該当事項はありません。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	0	17,600,000	17,600,000	0	
自治体補助金	岐 阜 県	0	220,000	220,000	0	
	そ の 他	0	347,600	347,600	0	
民間補助金	化学物質評価研究機構等	0	2,780,000	2,780,000	0	
合 計		0	20,947,600	20,947,600	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 該当事項はありません。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。
2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	2,252,313	2,196,186	2,252,313	0	2,196,186
退 職 給 付 引 当 金	36,410,510	1,964,257	676,800	0	37,697,967

財 産 目 録

(平成 29 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として(本部現金142,727円)	911,978
預金	預金合計		155,466,535
	普通預金		79,569,295
	三井住友銀行五反田支店	本部	10,086,475
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	13,367,618
	三井住友銀行新宿通支店	本部	2,362,396
	三井住友銀行五反田支店	本部分析土口	4,202,508
	三井住友銀行五反田支店	本部科研費口	17,600,000
	みずほ銀行五反田支店	本部	29,811,140
	三井住友銀行中もず支店	若手交流会	139,158
	みずほ銀行五反田支店	第66回年会実行委員会が使用	2,000,000
	支部/普通預金		31,228,122
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	3,707,496
	七十七銀行大学病院前	東北支部	2,081,570
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	13,576,860
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	2,982,932
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	4,749,370
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	1,354,026
	広島銀行西条支店	中国四国支部	2,775,868
	研究懇談会/普通預金		22,198,310
	群馬銀行桐生支店	環境分析研究懇談会	732,763
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	3,688,645
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	2,257,195
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	3,512,802
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	2,208,152
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	335,603
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	5,204,372
	三菱東京UFJ銀行網島支店	化学センサー研究懇談会	107,123
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	519,444
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	76,842
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,703,240
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,624,825
	三菱東京UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	199,439
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	13,865
	京都銀行下鴨支店	電気分析化学研究懇談会	14,000
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		4,440,019
		九州支部	2,564,417
		受託分析研究懇談会	694,998
		溶液界面研究懇談会	9,289
		有機微量分析研究懇談会	1,009,010
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	137,354
		溶液反応化学研究懇談会	24,951
	ゆうちょ銀行(口座振替)	運営資金として	10,683,517
		本部	6,167,706
		大会口	13,000
		環境分析研究懇談会	478,513
		有機微量分析研究懇談会	448,671
		X線分析研究懇談会	71,834
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	36,000
		フローインジェクション分析研究懇談会	1,441,919
		表示・起源分析技術研究懇談会	1,998,202
		レアメタル分析研究懇談会	27,672
	定期預金		7,347,272
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,869
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,275,299
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,266,104
売掛金	標準物質, 教育DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	2,240,460

財 産 目 録

(平成 29 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷雑誌に掲載している広告料に対する未収額	3,936,055
前払金	討論会・年会実行委員会他		857,674
討論会		第77回分析化学討論会実行委員会	122,256
年会		第66年会実行委員会	480
その他		業者委託費	734,938
棚卸資産	会誌/標準物質/教育 DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	26,867,529
標準物質			23,661,198
DVD			2,114,500
その他			1,091,831
貯蔵品	切手, 印紙, はがき,	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	113,308
一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
仮払金			603,362
労働保険料		労働保険料未精算分	574,202
その他		教育 VTR	29,160
流動資産合計			191,196,821
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
特定資産			
退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	2,267,398
普通預金	みずほ銀行五反田支店	支払の財源として使用	2,267,398
標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	34,776,353
普通預金	三井住友銀行五反田支店		14,776,353
定期預金	三井住友銀行五反田支店		20,000,000
預り保証金引当預金			11,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり, 運用益を本事業の財源として使用	10,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000
国際交流事業基金		研究会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	20,643,410
普通預金	三井住友銀行五反田支店		20,643,410
分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	8,376,749
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		8,376,749
分析技術教育基金		講演会事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	12,983,105
普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,983,105
定期預金	三井住友銀行五反田支店		10,000,000
支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	22,160,792
普通預金	北洋銀行本店営業部	北海道支部	282,897
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	4,516,071
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	3,952,171
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	1,801,252
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,623,320
	三菱東京 UFJ 銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	976,355
	大阪信用金庫杉本町支店	X 線分析研究懇談会	2,327,995
定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	1,659,674
	りそな銀行五反田支店	高分子研究懇談会	3,022,338
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,998,719

財 産 目 録

(平成 29 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)



貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)			
その他 固定資産	建物 220.4 m ² 東京都品川区西五反田		11,262,852
	器具備品 東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用	22,690
	土地 30.22 m ² 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の管理業務で使用	30,607,799
	電話加入権 3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
	敷金 近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
	商標権 英文誌、ぶんせき、分析化学	公益目的保有財産であり公益目的事業で使用	23,606
	長期貸付金 職員住宅購入資金貸付		2,127,720
固定資産合計			166,380,474
資 産 合 計			357,577,295
(流動負債)			
未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	8,047,641
前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	40,038,800
前受金	高分子分析研究懇談会	翌年度実施技術講習会(第54回)の前受額	1,190,000
前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	4,107,250
預り金	所得税 社会保険料等		856,313
討論会			13,000
健康保険料			139,141
厚生年金保険料			274,548
源泉所得税			4,864
住民税			189,600
その他			235,160
仮受金			79,585
賞与引当金	職員 5 名の夏期賞与	職員 5 名の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,196,186
未払消費税等			1,684,500
流動負債合計			58,200,275
(固定負債)			
退職給付引当金	職員 5 名の退職金	職員 5 名の退職金の支払いに備えたもの	37,697,967
預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受入れたもの	10,000,000 1,000,000
固定負債合計			48,697,967
負 債 合 計			106,898,242
正 味 財 産			250,679,053

監事監査報告書

平成 29 年 4 月 5 日

公益社団法人 日本分析化学会
会長 鈴木 孝治 殿

公益社団法人 日本分析化学会

監事 早川 和 
監事 前田 瑞夫 

私たち監事は、公益社団法人 日本分析化学会の平成 28 年 3 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日までの平成 28 年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第 7 条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人に必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、平成 28 年度事業報告書を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

平成 29 年度 予 算 書

(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	平成29年度予算額	平成28年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20,000	7,000	13,000
基本財産受取利息	20,000	7,000	13,000
特定資産運用益	19,000	74,000	△55,000
退職給付引当資産	1,000	20,000	△19,000
標準物質開発基金	7,000	30,000	△23,000
国際交流事業基金	1,000	4,000	△3,000
分析化学研究奨励基金	3,000	2,000	1,000
分析技術教育基金	3,000	9,000	△6,000
預り保証金引当預金	3,000	3,000	0
支部研究懇談会特定預金	1,000	5,000	△4,000
受取入金会金	155,000	180,000	△25,000
受取入金会金	155,000	180,000	△25,000
受取会費	102,160,000	92,070,000	10,090,000
正会員受取会費	39,990,000	35,000,000	4,990,000
学生会員受取会費	2,850,000	2,590,000	260,000
維持会員受取会費	20,450,000	18,000,000	2,450,000
特別会員受取会費	19,730,000	17,500,000	2,230,000
公益会員受取会費	10,250,000	12,000,000	△1,750,000
支部研究懇談会受取会費	8,610,000	6,700,000	1,910,000
賛助会員受取会費	280,000	280,000	0
事業収益	129,384,000	128,150,000	1,234,000
購読料収入	8,300,000	8,000,000	300,000
年会収入	12,745,000	9,000,000	3,745,000
討論会収入	12,000,000	13,000,000	△1,000,000
講演会収入	4,970,000	3,000,000	1,970,000
講習会収入	23,000,000	22,000,000	1,000,000
研究懇談会収入	1,020,000	1,000,000	20,000
技能試験収入	11,000,000	8,500,000	2,500,000
分析士事業収入	4,590,000	5,000,000	△410,000
SS収入	0	0	0
印税収入	630,000	1,000,000	△370,000
教材頒布収入	2,390,000	2,000,000	390,000
標準物質収入	21,200,000	22,000,000	△800,000
広告料収入	24,000,000	24,000,000	0
別刷頒布収入	2,700,000	8,700,000	△6,000,000
複写権使用収入	239,000	500,000	△261,000
JIS改正受託収入	500,000	380,000	120,000
事務委託収入	100,000	70,000	30,000
受取補助金等	19,500,000	16,350,000	3,150,000
受取国庫補助金	18,500,000	15,000,000	3,500,000
受取民間補助金・自治体補助金	1,000,000	1,350,000	△350,000
受取寄付金	100,000	100,000	0
受取寄付金	100,000	100,000	0
雑収益	829,000	980,000	△151,000
受取利息収入	129,000	80,000	49,000
雑収入	700,000	900,000	△200,000
経常収益計	252,167,000	237,911,000	14,256,000
(2) 経常費用			
事業費	199,650,000	184,490,000	15,160,000
給与手当	24,720,000	25,000,000	△280,000
臨時雇賃金	18,630,000	10,960,000	7,670,000
退職給付費用	1,000,000	1,000,000	0
法定福利費	3,240,000	3,000,000	240,000
会議費	22,000,000	21,000,000	1,000,000
旅費交通費	19,000,000	20,000,000	△1,000,000
通信搬送費	3,700,000	4,000,000	△300,000
減価償却費	1,500,000	1,500,000	0
消耗品費	5,070,000	4,800,000	270,000

平成 29 年度 予 算 書

(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	平成29年度予算額	平成28年度予算額	増 減
修繕費	820,000	700,000	120,000
印刷製本費	29,000,000	34,000,000	△5,000,000
光熱水料	210,000	240,000	△30,000
賃借料	120,000	600,000	△480,000
支払リース料	1,100,000	50,000	1,050,000
支払保険料	80,000	40,000	40,000
諸謝金	8,500,000	10,000,000	△1,500,000
租税公課	530,000	4,000,000	△3,470,000
支払負担金	840,000	600,000	240,000
支払助成金	740,000	500,000	240,000
内支助成金	14,000,000	0	14,000,000
委託費	40,000,000	39,000,000	1,000,000
表彰費	2,600,000	2,500,000	100,000
雑費	750,000	1,000,000	△250,000
会長企画戦略経費	1,500,000	0	1,500,000
経常費用計	199,650,000	184,490,000	15,160,000
管理費	51,477,000	53,080,000	△1,603,000
給与手当	14,800,000	14,130,000	670,000
臨時雇賃金	10,900,000	11,000,000	△100,000
退職給付費用	350,000	300,000	50,000
法定福利費	3,300,000	4,420,000	△1,120,000
福利厚生費	70,000	100,000	△30,000
会議費	350,000	500,000	△150,000
旅費交通費	3,600,000	5,500,000	△1,900,000
通信運搬費	1,700,000	2,000,000	△300,000
減価償却費	50,000	50,000	0
消耗品費	1,161,000	80,000	1,081,000
修繕費	610,000	450,000	160,000
印刷製本費	390,000	200,000	190,000
光熱水料	132,000	250,000	△118,000
賃借料	239,000	500,000	△261,000
支払リース料	3,300,000	2,750,000	550,000
租税公課	30,000	350,000	△320,000
支払負担金	1,790,000	2,000,000	△210,000
支払委託費	8,600,000	7,400,000	1,200,000
雑費	105,000	100,000	5,000
会長企画戦略経費	0	1,000,000	△1,000,000
経常費用計	251,127,000	237,570,000	13,557,000
評価損益調整前当期増減額	1,040,000	341,000	699,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,040,000	341,000	699,000
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,040,000	341,000	699,000
一般正味財産期首残高	208,872,445	208,531,445	341,000
一般正味財産期末残高	209,912,445	208,872,445	1,040,000
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高	209,912,445	208,872,445	1,040,000